

幼稚園の特別支援教育

特別な指導・支援を必要とする幼児の教育的ニーズに応じて指導し、育てるためには、園内での協力体制づくりと、保護者や関係機関等とのつながりが重要です。

指導の協力体制づくり

保護者や関係機関等とのつながり

保護者の思いに寄り添い、共に考える姿勢が重要です。



幼児
保護者

支援員等

特別な指導・支援を必要とする幼児やその保護者、学級担任が孤立しないように、園内で、相談しながら指導・支援を進められる体制をつくります。



学級担任

園内委員会

園長・教職員・特別支援教育
コーディネーター

話し合い・相談・連絡



巡回相談・外部専門機関等との連携

小学校

特別支援教育コーディネーターの役割

- 特別支援教育コーディネーターは、学級担任を中心に園内の職員で話し合える場の設定を行います。
- 巡回相談や外部の専門機関等との連絡の窓口となります。

話し合いや外部専門機関との連携によって、指導・支援の目標や手だてに新たな気づきや方向性が得られたり、目標の適切さが確認できたりします。

計画的・組織的な指導のために

～ 指導目標や指導方法を明確化・共有化する工夫 ～

集団の中での育ち合いと個別の指導・支援を組み合わせる

✓ ステップ1

クラスの指導計画（月案・週案等）に「特別支援教育」の視点を取り入れるための工夫をする。

◎集団生活の中で、個別の内容を設定することが重要です。

それを週案等の中に記述するなど、日々の保育と連動した形で指導計画を作成することが考えられます。



✓ ステップ2

必要な場合には、個別の指導計画等を作成する。

目標・手立てを決める2つの視点

個別の目標（ねらい）や手だて（環境構成や支援）を記述する

集団活動の流れに添った個別の目標や手だて

個の実態に応じた個別の内容とその目標や手だて

(例)

週 指導計画		月 第 週				月 日 ~ 月 日	
教師の願い 前週の幼児 の実態			今週のねらい・内容				
			支援を要する幼児について				
			環境構成・教師の援助				
週	月 () 日	火 () 日	水 () 日			金 () 日	
行事							
活動内容							
反省							

個の実態に応じた目標や手だてを記入する。